

# 【卒業生】2022年度 大学「外部評価アンケート調査」回答

2022.11.1

## 回答者

服飾学科各コースから（モードは人数が多いため2クラスから各2名ずつ14名に回答いただきました。

## 質問回答

### 1. 自己紹介（業務内容）

- ①業務内容：自社ブランド【KYOU】の展開のほか、OEM/ODM デザイン案件、グラフィックデザイン業務委託など多岐にわたる
- ②業務内容：アパレルメーカーの資材サプライヤーとして裏地、芯地、釦、ファスナー、ネーム、下げ札といった商材の営業及び生産管理を担当
- ③業務内容：ドレスショップ「プリマカーラ」ドレススタイリスト
  - ・挙式を控えた新郎新婦様へのお衣装をトータルコーディネーター、提案(ウェディングドレス、カラードレス、タキシード、和装など)
  - ・またそのご家族の列席衣装(モーニング、留袖)などの接客
  - ・ドレスに関しては花嫁のサイズに合わせて採寸までする
- ④業務内容：接客・販売
- ⑤業務内容：【ぬいぐるみパタンナー】・イラストや写真から型起こしをし、サンプルを制作している・工場から来たサンプルのちょっとした直し（糸止め、型紙修正）・新商品の提案・一点物からOEMの型起こし（アニメグッズ、キャラクターグッズ、映画関連グッズ etc.）・ぬいぐるみのドレス制作【新事業アパレル展開予定】・デザインから縫製まで全てを担い、衣装を制作する・現在、クライアント1件（イメージコンサルタントの制服を制作している）・今後、営業していく予定
- ⑥業務内容：株式会社パルミー マーケティング部（正社員）主に広告関連→WEB 広告の運用→オフライン広告出稿→その他、採用関連株式会社システム アパレル企画・進行（業務委託）企画・進行を担当→主にデザイン業務→その他、クライアントとの連携や進行管理
- ⑦業務内容：アパレルメーカーへの生地販売
- ⑧業務内容：サンプル職だし、サンプル及び量産の付属手配、品質内容作成・手配、輸出入業務、伝票処理、納期管理など
- ⑨業務内容：会員様への工房の機械利用のサポート、オーダー商品の制作、ワークショップ講師
- ⑩業務内容：オンラインショップの管理運営。E コマース営業
- ⑪業務内容：店舗運営
- ⑫業務内容：販売職
- ⑬業務内容：販売
- ⑭業務内容：Web の記事の執筆と編集、入稿、記事企画考案、ブランディング

## 2. 大学の授業について

### \*役立った授業と内容

### \*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

### \*今後必要と思われる授業名と内容

①\*役立った授業と内容：・モードクリエーションⅠ/Ⅱ・ドレーピング&パターンメイキング→モノづくりの業界に身を置いて、ものを作っていくにあたり上記の授業で学ぶことの基礎ができていないと、職人や工場さん、ひいてはモノづくり全般にかかわる人と対等のステージで話ができないことを業界に身をおいて痛感しました。どの業種にかかわったとしても、上記の授業で学ぶ、物の設計や成り立ち、デザインのプロセスを理解して損はないと思います。私は企画職・生産管理を経てデザイナーとして独立しましたがこの授業・専攻で培ったものは大きな武器になりました。まだまだ私自身も日々勉強中ですが、クリエイションや人体に沿ったパターンメイキング・ドレーピングについては深く入り込めば入り込むほど新しい扉が開くと思います。

・ドローイング→後述のファッション画に関しても共通なのですが、デザインを考える際に平面で考えるのではなく、立体的にモノ・コトを捉える為になにが必要かを問われる授業でした。担当教授の瀬古先生の緊張感ある授業もとても新鮮でした。

洋服のデザインだけではなく、デザインとは何かを身体を通して学べる授業でした。他の芸術大学でも引けを取らない素晴らしい内容だと思います。

・アパレル素材論→いまさらながらですが在学中の授業では生地についての基礎課程の授業が少なかったと思いました。卒業直後には思わなかったのですが、生産や企画職に従ずる人にはとても貴重な授業だと痛感しました。これは何の生地ですか？という問いに答えられない学生・卒業生多いのではないのでしょうか。私自身も、就職後生地屋さん、機屋さんに向うたびに必死に聞いて学びなおしました。カットソー・布帛・ニットを明確に理解でき、かつ布帛の織りの種類まで詳しく説明してもらえる授業だと記憶しています。卒業後も授業で使用した教材を家で何度も見直しました。

・衣服管理→これは私が生産管理職を経験して思ったのですが洗濯表記を作る業務が非常に多く、アウター、インナー、小物、バッグ、アクセサリと幅広い商品の洗濯表示を作成する中でこの授業で学ぶ家庭での衣類の管理方法や生地によってどのような処理が望ましいか。という授業は後々非常に役立ちました。JIS規格、洗濯表示法なども生産管理職には必須です。多くのドメスティックブランドが生産管理職で下積みをさせたのちに社内のブランドのデザイナー・企画職へすすむケースが私の時代には非常に多かったので下積み時代に非常に役立った授業となりました。

・繊維ファッション産業構造論→アパレルの商流、シーズンの流れについて学ぶ授業だと記憶しています。自分でデザインをしたい、独立したいと思っている人は実はデザインと同じくらい【商流】や【シーズン(SS/AW)]を理解する必要がある。ということブランドに就職してから気づかされました。国内・国外のコレクションや展示会がなぜこの時期に行われるのか、パリとNY、ミラノ、日本はなぜタイミングが違うのか(その後起きるハイエンドから→マス

ファッションへのトレンドの落とし込み)理解している人は卒業後の今でも理解している人は少ないと思います。

・ファッション画→私は今でも絵が下手なのですが、ファッション画で何度もなんでも書いた経験が今ではとてもよかったと思っています。資料や人にプレゼンするものはイラストレーターやフォトショップも使いますが、パターンナーとデザインの打ち合わせをするために必ず正面・サイド、バックスタイルは書き続けています。パソコンではだれでも簡単に線を描くことはできますが同じただの線です。手でどこまで表現できるかは個人の武器になると思うので非常に重要な技術を学べる授業だと思います。もう一度受けたいくらいです。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見\*  
今後必要と思われる授業名と内容

私は学生の時からデザイナー志望でしたが、社会に出て大きく実感したのは企業やメーカーベースのモノづくりと学生の時と思っていたデザインのギャップでした。具体的には学生時は原価を気にせず自由にモノづくりをさせてもらっていましたが、実際にはモノを売って商売にしなければいけない。学生時からコストを気にしては、創造性の発達に妨げになるかもしれませんが実際に多くの卒業生が、企業に属してデザインやモノづくりに携わることが多いと思います。その時に、コスト感がアバウトでもわかっていないと前述でも記載しましたが同じステージ、同じ土俵で話ができないことが多いです。

例えば、モードクリエーションの授業の一環で、自分の作品をブランドとして実際に売る想定で生地値段、資材の値段など原価がいくらかかった→利益取るためにどのくらいの上代にしなくては行けないか。などさせてみたら面白いのではないかと思います。

- ② \*役立った授業と内容：モードクリエーションやドレーピング&パターンメイキングといった実技授業は非常に役に立ちました。私は営業という職種ですが、アパレル業界である以上、モノづくりの理解度や専門用語の知識などが求められるため、全ての基礎となる内容だと思っています。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見：実務を学ぶという意味で、アパレルメーカーの企画～販売までの流れや、プロの市場調査方法、生地、付属の選定方法など、アパレル企業における具体的な業務内容を職種別に学び、理解を深めれば良かったと感じた。在学中は職制による業務内容の違いを細かく理解しておらず、将来のイメージがつかない時期がありました。アパレルを職種別に学び、将来のビジョンを描けるような知識があれば良いと思います。

\*今後必要と思われる授業名と内容：現在のアパレル業界のトレンドは「サステイナブルファッション」と「アパレルDX」だと思います。サステイナブルファッションでは大手アパレルの積極的な取り組みが加速しているので、環境についての授業があっても良いかと思います。(アパレルの環境課題やエコの種類にどのようなものがあるかなど) アパレルDXでは生産管理システムや在庫管理システムのデジタル化が加速しています。CADやPhotoshopなど、一部分にデジタルを導入するのではなく、企画～販売まで一気通貫でフォローできるシステムの導入が増えてきました。その仕組みを学ぶことは、将来の実務に直結してくるかと思います。

- ③\*役立った授業と内容：【モードクリエーション】

衣装作成を学んだ事で決定したドレスのお直しを見る際、構造など理解ができより綺麗なお直しを見ることができた。年に一度スタイリストがオリジナルデザインの公募があり、デザインの発送の仕方などが役に立った。

- ・授業科目名の内容と不足、具体的に欲しかった内容

【衣服材料学、衣服管理】生地の特性や素材について

何度か実践的な事もあった気がしますが、全体的に座学で分かりにくかった。

素材についてもう少し学べていれば、着心地や汚れてしまった時の対応が現在の仕事にもスムーズに生かされたかなと思います。

- ・今後必要と思われる授業名と内容

【ファッション画など...】

私の場合、ドレスデザインなどの提案をする際に1番伝えたい事を表現できるのはファッション画などの絵だと思います。上達すれば自分のやりたいことが形になりやすいと思います。

④ \*役立った授業と内容

衣服材料学 接客をする中でお客さまから洗濯方法やお手入れ方法を聞かれることが多かったため。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見  
色彩演習

大学の授業内容では不足だと感じる。接客だけでなく作る側の職についた際も色についての知識はきちんとあった方がよいと考える。

また、材質によっても色の見え方が違うこともよくあるので実際に生地などを並べて合わせてみるといったこともあるといいと考える。

\*今後必要と思われる授業名と内容

冠婚葬祭やオケージョンニーズのある洋服を扱うことが多かったため、その時のマナーなどを細かく授業で扱ってほしかった。

⑤ \*役立った授業と内容：インダストリアルパターンⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

：CAD パターンメイキング

：感性産業デザインⅠ・Ⅱ

：感性産業CADⅠ・Ⅱ

：CG デザインⅠ・Ⅱ

- ・衣服のパターンを学んだことにより、ぬいぐるみのドレス制作に活かしている。
- ・縫製方法もたくさん学べた
- ・Ai、Ps が活用できるようになった

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見：  
特になし

\*今後必要と思われる授業名と内容

- ・CAD パターンメイキング、感性産業CAD
- ・CG デザイン (Ai、Ps)

⑥ \*役立った授業と内容：【アパレル素材論】様々な素材を知ることができたので、アパレル販

売員時代に接客で役立った

#### 【現代ファッション論】

デザインの背景を学ぶ時間が多かったので、デザインや広告を出す際に、ペルソナや背景を考えて考案できるのは、この授業のお陰だと思う

#### 【インダストリアルパターン（1年～4年まで全ての授業）】

CAD：感性を選んでよかったと思える授業。量産型のデザインになるにしろ、凝ったデザインにしろ、CADを学んでいたおかげで、パターンの工数が減って、他の作業に時間をふれるのがタスク的に役に立った。縫製：ファーから皮まで様々な生地を縫製していたことで、デザインに合わせた生地選びをする力がついた。業務委託のデザインでも役立っている

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

##### ・服飾手芸（ニットを含む）

編み物をしたことがない学生はほぼ苦戦していた。映像をみながら一緒に作業がかなり難しかった。自分の手元と先生の手を見ながらよりも、先生の動画を生徒に配布して、動画を巻き戻したりできる環境なら、学びやすかった。

##### ・ドローイング

裸の人を描く授業があったが、人体を把握する上で大切ですが、服を着た状態で描くこともやりたかった。（スカートの動きが描けるようになるなど）

ドローイングで描いた人体にファッションデザイン画で服を着せるなど、1つ1つの授業を個別で完了させずに、組みあわせで授業を組んでも、それぞれの授業で学ぶことが比較できてよさそうと思った。

\*今後必要と思われる授業名と内容

##### ・自分でブランドを立ち上げる流れ（確定申告なども）

→フリーランスで働いたり、副業があたり前になっていく中で、必要そう

##### ・ハイブラ・プチプラ・無在庫販売などのアパレルの仕組み

（売上になるまでの流れ・コストなど。それぞれのメリット）

→韓国や中国の無在庫販売が多くなってきて、国外の服を自分の服として売るのがあたり前になってきているので、リスクなどは授業として知っていても良さそう。

・コロナ渦で生き延びたアパレルブランドについて→アパレルに就職する中で、どんな企業を選ぶべきか、（本当に大手だけが決め手なのか）を判断できるようになりそう

#### ⑦ \*役立った授業と内容

素材分析実験：生地試験項目と内容、また実際に自分で試験をすることで品質基準について学ぶことができました。生地を扱う今の仕事には必要な知識なので、学んでいて良かったです。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

ファッション・フィールド・リサーチ：実際に外に出て、場所によって客層や雰囲気の違いが学べたのは良かったのですが、最終的に自分が働く場合や、出店するなら...などをまとめて提出したり、マップを作ったりするとさらにリサーチスキルが身につくのではないかと思います。

\*今後必要と思われる授業名と内容

衣服材料学：生地の種類と特徴を一通り学ぶことができるので、アパレルの仕事には必要だと思います。授業では小さい生地スワッチを見ていましたが、実際に製品になった状態でも生地を見ることでイメージしやすく、分かりやすいと思います。

⑧ \*役立った授業と内容

・ニットイング：最初に就職した会社はカットソーの OEM の会社で、縫製スタッフとして入社致しました。

カットソー生地の縫製は未経験でしたが、授業で布帛とカットソー生地の違い、カットソー生地を縫う特殊ミシンについての知識はあったため、職務にあたる心持がだいぶ違いました。

・アパレル素材論：縫製スタッフ、カットソー生地メーカーの生産管理、現職の製品の生産管理といくつかの職種を経験してまいりましたが、どの職種においても素材に関する知識は役立っており、重要だと思いました。私が経験している職種だけでなく、デザイナー、パタンナーなどにおいても、これは共通していえることだと思います。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

市場にカットソー製品がこれだけあふれているので、布帛主体の授業ではなく、カットソーの内容が盛り込まれても良いのではないかと思います。(普段私たちが身に着けているものは圧倒的にカットソーが多いかと思しますので)

\*今後必要と思われる授業名と内容

上記にも書きましたように、カットソーの授業です。また、ニットに特化した授業、またはコースの設立。現場を見ているとニットの知識のあるデザイナーは数少ないのが実情です。デザインだけしてその後の細かい仕様は工場任せの場合が多いです。知識があればデザインの幅も広がり、より良いものができると思います。就職するのにもかなりの強味になってくると思います。

⑨ \*役立った授業と内容

日野校舎でのデザインの授業 普段とは違う環境での授業は、豊かな発想力を身につけるのに大変良い時間を過ごせた印象です。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

私の仕事内容での意見になりますが、ミシンのメンテナンスや縫製の仕上がりにより、行った方が良いミシンの調整などの知識が授業でもっと身につけていれば良かったなと思います。

\*今後必要と思われる授業名と内容

カリキュラムがかなり変更になり、服飾造形の基礎が1年の間でしかない為か、弊社にアルバイトで来てくれる後輩の縫製スキルが、正直なところ経験不足のように感じます。コースによって造る量に差があるとは思いますが、簡単な縫製とミシンのセットが問題なくできるようになっていることは必要であると思います

⑩ \*役立った授業と内容

「産学連携」プロジェクト演習：実際に企業とのコラボで企画から販売までできることは他ではできない経験であり、プレゼンでは厳しく講評をいただけることは社会経験の一つとしてとても勉強になった。また、プレゼン力の向上にも繋がり、仕事で問題点等を考えるきっかけの

一つにもなった。

\* 役立った授業と内容 色彩演習 色の使い方やバランスの取り方

\* 授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見  
web マーケティングに関する授業

\* 今後必要と思われる授業名と内容 web マーケティングに関する授業

⑩\* 役立った授業と内容

「産学連携」プロジェクト演習：実際に企業とのコラボで企画から販売までできること他ではできない経験であり、プレゼンでは厳しく講評をいただけることは社会経験の一つとしてとても勉強になった。また、プレゼン力の向上にも繋がり、仕事で問題点等を考えるきっかけの一つにもなった。

\* 授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

ファッション販売論：ファッション業界では多くがまずは販売から経験することが多く店舗配属から始まるので、販売でのマナーや言葉等の講習や、授業でロープレ等の練習も取り入れると良いのではないかと思った。

\* 今後必要と思われる授業名と内容

SNS 系の授業：SNS は現在ビジネス系の授業でしか扱われていない授業であるが、今後マーケットでは必ず必要になる項目であり、全コースで必須にしても良いと思う。また、ただの講義ではなく、生徒が分析やそれに関するプレゼンを行うことで、より勉強になると思う。

⑪\* 役立った授業と内容

授業名：産学連携

内容：実際に企業の方とコラボレーションして商品を作り上げる

\* 授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見  
特にありません

\* 今後必要と思われる授業名と内容

授業名は思いつきませんが、もっと今現在のリアルなファッション業界で働いている方のお話を聞くことのできる機会などがあれば、より生徒は業界に対しての実感やイメージが湧きやすくなると思います。また、自分の本当にやりたい業種や企業を見つけるきっかけになるなど、就職活動にも良い方向で影響するのではないかと考えます。

⑫\* 役立った授業と内容 生地関連の授業(生地の取り扱い方法など) 売り場づくり

\* 授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見  
昔だけではなく今の流行や SNS のアルゴリズム、仕組みなどの授業

\* 今後必要と思われる授業名と内容 SNS を強化する方法や仕組み

⑬\* 役立った授業と内容

Adobe を使った授業全般：Photoshop や illustrator を使い、デザインを作成。企画からプレゼンまでも行う。

流通イノベーションゼミ： EC で商品を売ることを仮定し商品企画を行い、EC での販売を実践的に学ぶ。

顧客関係論：顧客の購買に関する意欲の沸き起こり方やどうすることで購買に繋がるのかを

学ぶ。カスタマージャーニーについて実際に考える。

\*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見  
流通イノベーションゼミ：ECで大事なGoogleアナリティクスについてももう少し深掘をし、  
理解を深めたかったです。

顧客関係論：Web上での顧客の導線設計などももっと知りたかったです。

\*今後必要と思われる授業名と内容

Webマーケティング：ファッション業界でもECに限らず、Webの需要が増え、それに伴うスキルが必要とされているため、GoogleアナリティクスやカスタマージャーニーなどWeb上での顧客との関わり方、ブランド側の提案の仕方についての授業が必要であると思います。

SNSマーケティング：SNSについて、積極的に取り入れて行くべきだと思います。(サムネイルのデザインや動画とテキストについてなど。)

### 3. 教育課程の編成と教育方法について

\*教養科目の編成について

\*専門科目の編成について

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

\*その他の指摘、改善点

①\*教養科目の編成について

\*教養科目の編成について

第二言語は必修にならないのでしょうか？私は卒業後留学したのですが、服飾系の留学だと英語はとても重要でした。ファッション画(CG)を私は専攻しなかったのですが、今の時代必須だと思います。モードクリエイションにはドローイングⅡは必修にしたほうが良いと思いました。

\*専門科目の編成について

特にありません。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

特にありません。

\*その他の指摘、改善点

特にありません。

② \*教養科目の編成について

問題ないかと思います。

\*専門科目の編成について

サステイナブルファッションについての授業とアパレル生産管理についての授業があると思います。生産管理は企画（デザイナー、パタンナー、MD）のイメージを形にする重要なセクションであり、同時にOEM、ODM商社の役割も学ぶことができると思います。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

DXが進む中でも、実際に様々な素材に触れる機会は大切だと感じますのでそういった機会を授業の中で取り入れていただくと良いかと思います。

\*その他の指摘、改善点



なし

③・教養科目について

社会人になって教養は1番大切だと感じます。私のように接客業だと色々なお客様がいるので、その分色々な知識が必要だと思いました。

・専門科目について

専門科目は自分のやりたい事が出来たのでよかったです。ただもう少し実践的な事、現場に出て学べたらよかったなと思う事もあります。

④ . 教育課程の編成と教育方法について

\*教養科目の編成について 特になし

\*専門科目の編成について 特になし

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む) 特になし

\*その他の指摘、改善点 特になし

⑤\*教養科目の編成について

ただ単位を取得するために授業を受けていたというイメージ

\*専門科目の編成について

自分の進みたいコースに向けて選択できたので良かった

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む): 特になし

\*その他の指摘、改善点

ドローイングの授業は必要なのですか?

⑥\*教養科目の編成について

\*専門科目の編成について

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)

\*その他の指摘、改善点

特に意見なし

⑦\*教養科目の編成について

特になし

\*専門科目の編成について

デジタル系の科目が少ないように見えます。

\*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)

2年次のコース選択の手助けになるように1年次の専門選択科目が少し増えると良いと思います。

⑧\*教養科目の編成について

現在の会社でも海外出身の人材が活躍が増えてきているように思います。生産背景、海外中心の企業も多いと思います。日本語ができる海外の人も多いですが、細かいニュアンスなどは伝わりにくく、苦勞する時があります。ただ語学ができるのではなく、現場で使える語学が必要だと思うので服飾用語を用いた語学の実践ベースの授業があると良いと思います。

\*専門科目の編成について

学生の縫製の技術が退化していると耳にしました。服飾大学卒でそれは疑問に感じますので、

服飾造形基礎は2年次でも必修であってもいいのではないかと思います。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

画像設計演習は選択でも良いが、デザイナーを目指すのであれば必修ではないかと思います。近年、ペーパーレス化やリモートワークが進んだことにより、現場の仕事はより一層デジタル化が進んでいるように思います。そのため、イラレ、フォトショのスキルは必須だと感じます。現在の会社でもイラレのスキルがある人は服や雑貨のデザインだけでなくプリントデザインも手がけるなど活躍の場を広げており、なくてはならない存在です。また、服飾大学卒でなくてもイラレのスキルがあるためデザインをしている人材もいるため、服飾の知識プラスイラレのスキルを持ち合わせた人材に活躍の場を勝ち取ってほしいと思います。

\*その他の指摘、改善点

アパレル業界の職種に関しての授業（情報提供の場？）があってもいいのかなと思います。（なるべく早い段階、1年次のはじめ位に）デザイナーや、パタンナー、MDなどの職種にスポットがあたりがちですが、モノづくりには、様々な職種が携わって商品ができています。現場に入ってから、こういった仕事もあるのかと知る場合もあります。様々な職種を知ることによって、自分の目指す方向制を見つけ、それに進むための知識、技術習得のための授業選択をすることで、スキルの向上に繋がっていきけるのではないかと思います。（ただ漠然と授業を受けるのではなく、目指すものがあると授業の受け方も違ってくると思うのです。）また、それに特化した授業の編成することで、よりスキルある人材を育成できるのではないかと思います。

⑨\*教養科目の編成について

必ず色彩の検定を受ける必要があると聞いた事がありますが、授業の一環で資格を得ることができるのは、とても良いなと思いました。

\*専門科目の編成について

かなり幅広い知識が身に付けられる編成になっており、新規変更科目の[メディアコミュニケーション論]は、これからの情報化社会に対応していける力がつくのではないかと思います。

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

教養科目にて、基礎的な縫製知識がもう少し学べるような科目が増えても良いかと存じます。

\*その他の指摘、改善点

授業数がかなり減ったようで、自身で考えた作品をつくる時間がかなりあると思います。積極的に制作活動が出来るような環境(実習室の改善や自由な教室の利用など)が整うと良いかと存じます。

⑩\*教養科目の編成について 特になし

\*専門科目の編成について 特になし

\*改善に向けての提言（科目の過不足を含む） 特になし

\*その他の指摘、改善点 特になし

⑪\*教養科目の編成について

特に不足を感じたことはなかったが、社会人としてのスキルや、日本語の学びの授業があっ

てもよいと感じた。

\* 専門科目の編成について

在籍していたころよりもマネジメントコースとしての授業の幅がより増えているところが良いと感じた。

\* 改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

先ほどの今後必要と思われる授業名と内容でも述べたが、SNS系の授業を流通イノベーションコースだけではなく、全コースで受けられると良いと感じた。

\* その他の指摘、改善点

専門選択では一方的な講義の授業が多いと感じるため、実践的な内容であるとより充実すると考える。また、自分の意見を伝えるプレゼンテーションの場を積極的に増やし講評の場をしっかりと設けることで、伝える力の向上を全コースで図れると思う。

⑫ \* 教養科目の編成について

特にありません

\* 専門科目の編成について

特にありません

\* 改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

特にありません

\* その他の指摘、改善点

特にありません

⑬ \* 教養科目の編成について 特になし

\* 専門科目の編成について 特になし

\* 改善に向けての提言（科目の過不足を含む） 特になし

\* その他の指摘、改善点 実演系、実習系の授業があると良い

⑭ \* 教養科目の編成について

課題が出るものが多く、大変でしたが、特に問題はなかったです。

\* 専門科目の編成について

専門科目は比較的、授業内容も豊富でよかったですと思います。自分の専攻しているコースと違う分野のことも学びました。

\* 改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

ビジネス向けの授業が少ないように感じました。ファッションビジネスに関するスキルは、作ったりデザインする側にも必要な視点であり、今後増やしていくべきであると考えます。

\* その他の指摘、改善点

プレゼンをする授業が多くありましたが、「資料作り」「話し方」などが欠けていると思います。多くこなせば癖がついてしまいますし、企業でも実際に必要なスキルなので1年次にプレゼンの仕方を取り入れるべきであると考えます。きちんと資料も配布し、卒業まで見返して課題に取り組むときに見て作成できる形にするのもいいかと思います。

#### 4. 入学者受け入れについて

**\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

**\*そのための方策案があればご助言ください。**

① **\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

私の就職時もそうだったのですが、デザイナー職・パタンナー職の求人は圧倒的に少ないと思います。その中で業界に入り込むためには個人の熱量やガッツが試されると思います。ただ、私の場合は人とのつながりで色々な場所にフックアップしてもらいました。その中でインターンシップなど積極的に外に出ることはチャンスメイクになると思います。時代は変わり、いわゆる普通にそつなくこなす人は専門職には求められません。自分で行動する力が問われる時代になっていると思います。業界自体は非常に古い体制なので、若いこの多くはこの仕組みに入る前にいやになって挫折していく子が多いと思います。私の同期や同年代も多くが挫折して辞めていきました。

**\*そのための方策案があればご助言ください。**

本当にクリエイティブを目指すのであれば、分かりやすく言えば海外に留学したり人とは違う視点を培うと後々まわりまわっていい方向に還ってくると思います。

いまは就職せずにいきなり DtoC でブランドを始めるスタイルも多いですが、結局相手の仕入れ先や取引先は古い体制の業界の人間が多いので、修行と思って自分の目標を曲げずに仕事に取り組みれば良いと思います。ただ残酷なことに、会社や社会は勉強しに来る人は求めています。一年目でも十年目の人材でも外から接する人はプロとして商売で接してくるので学生のうちに人に負けない打ち込める何かがあると社会に出てから非常に強い武器になると思います。

② **\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

突出した個性が無くとも、アパレル業界には様々な役割がありますのでセンスや芸術性のみでフォーカスすることなく、希望を持っている学生を積極的に受け入れて、学校生活の中で適正職種を判断していけばいいと思っています。

**\*そのための方策案があればご助言ください。**

学校を知ってもらうためのブランディング

③ **アパレルへの人材育成に向けてどのような人材かは、継続力と忍耐力があるといいと思います。**

自分のやりたい事は最初からできるわけではないと思うので、すぐに諦めてしまうのは良くないと思います。

④ **\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

なかなか服が売れない時代だがその中でどうしたら売れるかを考えることができ、大変な状況でも冷静に判断ができる人材。

**\*そのための方策案があればご助言ください。**

辛いことがあった場合、どう乗り越えていくかを具体的に話せるかどうかを面接などで聞く。

⑤ **\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

アパレルの世界は一見華やかに見えますが、地味な作業も多いので、地道な作業が好きな人、裏方ができる人、努力と継続ができる人が必要だと思う。

**\*そのための方策案があればご助言ください。**

今までに何か一つでもずっと継続していることがあったり、将来に具体的な目標があるとよいと思う。

⑥\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

- ・協調性のある人
- ・リーダーシップ力
- ・発信力のある人
- ・忍耐力のある人
- ・発想力のある人

\*そのための方策案があればご助言ください。

- ・グループ面接で、企画→プレゼンまでを行う（リーダーシップ・協調性・発信力全てが分かる）
- ・アパレル業界で起こりうる懸念を課題としてだしてどうゆう対策をとるのか聞いてみる（忍耐力・発想力の把握／辞める以外の選択肢を自分でだすことができるのか）

⑦\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

進学してどんなことを学びたいのか明確な人は将来に向けて自分に必要な知識をたくさん吸収できると思います。

\*そのための方策案があればご助言ください。

オープンキャンパスなどでブレインストーミングをやってみると自分の興味がある分野や好きなことに気づく機会が作れると思います。

⑧ \*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

コミュニケーション能力がある人材でしょうか。企画から生産にいくまでには社内、社外との連携が必要不可欠です。個人プレーで良いモノづくりはできません。多くの人とコミュニケーションをとり、物事を進めていくことができることが重要かと思います。また、好奇心旺盛さも重要かと思います。私の現職の会社の部署はゴルフブランドです。自分の携わっているブランドの服、雑貨の使用される場面に興味をもてるかどうかは重要です。お客様の求めるものがわからなければ商品に生かすことができません。それは売上に結びつかないということです。必ずしも自分の好きなものばかりができるわけではありません。何事も自分の糧になると思って好奇心旺盛に仕事と向き合える人は強いと思います。

\*そのための方策案があればご助言ください。

申し訳ございません。現段階では思いつきません。

⑨\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

社会のニーズに興味があり捉える力があるのは、どんな分野でも活躍できる場面が多いので、多方面に興味と関心が向けられるような人材は今後必要だと考えます。

\*そのための方策案があればご助言ください。

実際に現在活躍している方の話を聞ける機会が豊富にあると、今までなかった考えや発見が見つかる為、多方面の興味や関心が増えるのではないかと存じます。

⑩\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

アパレルに興味があるだけでなく、その他にも何かひとつでも好きな事（音楽でも映画で

もなんでも)がある人は社会に出た後も魅力的に映るので、好きな事を追求できる人材は強い。

\*そのための方策案があればご助言ください。 特になし

⑪\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

発信力や行動力を持った人が必要になると考える。アパレル業界は年々厳しく自分で機械を待つのではなく、業界で活躍するには常に発信や行動を自ら続けることが大事になっている。そうした思いを伝えられる人(例えば服が好きで、こんなことをしてみたい!等)を積極的に受け入れるべきであると思う。

\*そのための方策案があればご助言ください。

さまざまな思いが反映できるような授業の充実や、就職や活動のサポートがよりできると良いと思う。また、業界で活躍している人を講師として採用すると授業がより充実すると思う。

⑫\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

自己表現が上手い人材は受け入れるべきだと考えます。理由と致しましては、自己表現に長けている人はデザインや接客どんな面でもファッションの魅せ方が上手いからです。今は私が大学に入学した時よりもSNSの影響で自己表現に長けている方がたくさん居るなど個人的に感じます。

\*そのための方策案があればご助言ください。

表現学科の学びは現代のニーズにも合っていると感じるため、オープンキャンパス等でもアプローチが重要になってくると思います。

⑬\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

SNSに強い人、メンタルに態勢がある人、主体的に物事を考えて行動に起こせる人

\*そのための方策案があればご助言ください。

発信することに慣れる、

⑭\*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

何かを考えることが好きで、発想力があり提案ができる、受け身よりかは、コミュニケーション能力や積極性がある人材だと考えます。またはそれらを身に付けたい人材。他には、トレンドに食らいついていける、相手の立場になって考えられる、情報発信ができる(SNS)人材など。

\*そのための方策案があればご助言ください。

どのコースであっても、なぜそれを作ったのか、考えたのかというプレゼンが必ずありましたが、店頭でも Web でもアパレル業界は常に新しいものが生み出される業界なのでそれに伴う提案力といったものが重要だと日々感じています。インターンシップをもう少し充実させ、実際に企業に入り見て感じて新たな視点を持つなどで、積極性やコミュニケーション能力を養うなどがいいかと思えます。

「つくる」「企画」といった点は授業も充実していますが、それらを受け取る「顧客」についてが少し弱い点があるのでそのあたりもどのコースの人も知るべきであると考えます。

## 5. コロナ禍を受けて今後の人材に必要なこと

\*どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

- ①個人で裁量をもち判断して的確に動ける人材。言われたことをただこなす人は必要とされません。
- ②脱アナログへの意識、問題解決への行動力
- ③私の同期もコロナの影響もあり、半数以上がすぐ退職しました。その中でも動揺や周りに影響されず強い心を持つ人材を企業側は求めていると思います。
- ④新しいことにチャレンジすることに前向きな人。コロナ禍でいろいろなことに制約ができ、今までとは違うやり方を模索していくことが多かったため、新しいことに抵抗なくチャレンジできる人が必要だと考える。
- ⑤基本的な PC スキル、アパレルでは CAD、Ai、Ps のスキルが必須になると思います。
- ⑥・上記と同じ意見。
- ・フリーランスのような働き方ができる（1人でマルチに業務をこなす力）＋協調性（フリーランスでも結局は誰かと関わって仕事する事が多いので、協調性やコミュニケーション能力が大切）
  - ・オンライン上の接客・会話法（Zoom など）
  - ・スラックやチャットワークでのビジネス文の作成（コロナになってメールでのやり取りが減った分、チャットツールを使用することが多いが、チャットツールで、ビジネスメールの文章は打たないので、カジュアルなビジネス文を作成する能力が必要）
- ⑦SNS で商品情報を得たり、EC サイトを利用する人が増えているため、サイトのデザインや運営できるスキルが身につけていると良いと思います
- ⑧PC スキルです。どの職種も PC での仕事がほとんどです。扱うソフトは職種によって異なりますが、私の場合は取引先とのやり取りはメールがほとんどなので、いかに早く打ってほかの業務の時間にあてるかなど考えながら仕事をしています。
- ⑨\*どのようなスキルが今後必要になるとお考えか
- 社会の変化に応じて、柔軟に対応できる力がかなり必要になってくるかと存じます。学生のうちに様々な事を経験しておくと言うのは、社会に出た際に、力になることがたくさんあると思います。
- ⑩ ただものを作る、売るだけでなく、市場全体を見渡せる広い視野が必要かと思います。特に SNS の発達が著しいので新しい情報をキャッチアップすることは重要かとおもいます。
- ⑪ コロナ禍を受け、リモート等授業でもパソコンを使うことが多く、仕事でもよりパソコンを使うことは多くなる。SNS はスマートフォンでもできるが、サイト等パソコンで作ることもまだまだ多い。また、オンラインの需要も増え、アパレル業界でもそうした仕事の需要が増えている。そうした中でパソコンを使えることは重要となってくるが、それに対応できるような授業が少ないと感じた。また、それを活かして授業を進めることも少なく、この機会を増やすことが必要になると考える。
- ⑫ 現在はコロナ禍がはじまった当初よりも、デジタルマーケティングが今まで以上に加速しており、近年ではバーチャルファッションの発展など、服は着るものから見るものへと変化しているような気がしております。そのため、デジタルやPC技術、グラフィックデザイン等に強い表現力やスキルが求められていくと感じます。

- ⑬ 状況に左右されずやるべきことを冷静に判断できる力、コミュニケーション能力、リアクションをしっかり相手に伝える力、数値分析能力
- ⑭ ネット上でファッション提案をできる人材。自らが表に出て積極的に情報発信をできるといった点も大事になってくると考えます。そこで、重要となってくるのが自由に情報発信をできる SNS が挙げられます。今までは店頭で顧客との関係を気付いていくものであったが、スマートフォンや EC の需要が加速した現代では、SNS 上で一企業の一員でありつつ、ネット上で自らが表に立つことで、接客同様親近感を感じさせたブランドの提案ができると考えます。また、SNS でも EC で動画の需要が増えていったとしても必ず画面にはテキストがあります。キャッチーな言葉を考える力や購買意欲をそそる文章力を持った人材も今後活躍していくのではないかと考えます。

## 6. その他

- ① 私は杉野服飾大学で学び、卒業できて本当に良かったと心から思っています。自分で何かに飛び込もうとする人間に学校や教授、周りの人が力を貸してくれる環境でした。今の学生にもただ、日々を淡々と過ごすのではなく心に何か熱いものを秘め、エネルギーを持ってぶつかってってもらえたらと思います。
- ② 特になし
- ③ 特になし
- ④ 作る側の仕事を目指していたとしても販売を経験することは大事だと感じます。特に今は服を買う人が減り、さらに対面での接客というのは少なくなっているようです。1 番服の売れ行きやお客様の動向を感じられる販売を一度は経験するのいいと思います。なかなか辛い状況が続くので、心が折れたり、アパレルが嫌になることもあると思いますがそこを乗り越えたときに、新しい考え方やアイデアができるのかなと思います。
- ⑤ 特になし
- ⑥ 特になし
- ⑦ 特になし
- ⑧ 可能であれば、現役の業界の人の講義、講演など、現場の声が聞ける場があったらどうかなと思いました。(有名な人ではなく)たとえば、授業 15 回、日替わりで 15 人の人の現状の仕事の話が聞けるといった感じで、15 人もの話を聞けるのは非常に貴重ですし、学生にとっても現場の話のほうが仕事の想像がしやすいのではないかと思います。自分が学生の頃は、内に籠る性格だったこともあり、どんな職種があって、どういった仕事があるのかあまりリサーチせずに学生時代を過ごし、就職活動をしていました。自分には何が向いていて、やりがいを感じる仕事は何なのか、様々な職種を経験して、今の生産管理の仕事に出会うことができました。様々な経験ができたのは良いことだと思っていますが、あまりにも様々な職種を経験したので、転職の度に未経験からのスタートになるので、給与面ではアップが見込めないといったマイナスな面も正直あります。自分の経験を踏まえ、自分の将来の方向制を見つけられる、いろんな情報提供の場があっても良いのかなと思いました。(自分から積極的にも行動できるのが一番ですが、方法がわからなかったり、苦手な人もいると思うので)



⑨特になし

⑩特になし

⑪特にマネジメントコースでは、受けられる幅が広がったと感じた。杉野では少人数ならではの実践的な授業が強みであると考えているため、その強みを活かして授業を充実していけると、生徒の学びに向上につながると思った。

⑫行事やコロナ禍における授業の進め方などの学校全体的なものの決定が遅く、困惑する面が私含め、私の周りでも多々ありました。そこに対して、もう少し素早い決断と行動をして頂けると生徒の感じるストレスや不安も軽減され、より学びを深められると思います。

⑬ 特になし

⑭授業の進め方と雰囲気について：学生がもっと積極的に授業に取り組みたくなるような授業の作りをしていくべきだと考えます。

履修について：1年次にもう少し、科目の取り方などを積極的に指導すると良いと思います。必修以外の科目の区別が付きにくい点があるため、履修の表に関しても見やすく改善をすべきだと考えます。